



AvePoint®

DocAve® どきゅなび

シナリオ: SharePoint でのリッチファイルの活用

AvePoint®



地方オフィスを新たに設立したばかりの組織があります。IT 管理者は、各場所に保管されている組織内ファイルを新オフィスからでもアクセスできるようにすることを考えます。



新オフィスには新たに採用された従業員が多く、組織のトレーニング サイトからストリーミング形式でビデオを見れる環境が必要となるためです。

ステップ 1



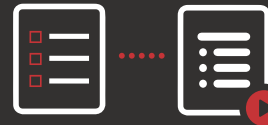
IT 管理者は DocAve どきゅなびを導入します。これにより大容量ファイルやメディア リッチ ファイルなどを含めた様々なデータを、SharePoint に直接リンクを表示させることでアクセスすることが可能になります。

ステップ 2



どきゅなびを使用し、IT 管理者は SharePoint 上に新しくファイルシェア リンクを作成します。

ステップ 3



IT 管理者は、作成したリストとファイル システム ディレクトリとをマッピングし、フォルダー パスを使用してファイル システム内のビデオ コンテンツへのアクセスを確立します。

ステップ 4



ここで IT 管理者は同期を実行します。するとファイルシェア内のコンテンツに対して SharePoint 上からアクセスできるようになりました。

ステップ 5



組織内のすべての従業員が SharePoint を通じて必要なファイルにアクセスし、WFE サーバーに負荷をかけることなくビデオ データをストリーミング形式で確認できるようになりました。

結果



IT 管理者

地方オフィスの従業員が SharePoint へアクセスできるようになり、移行プロジェクトや SQL Server ストレージの使い過ぎといった問題を回避することに成功しました。



ガバナンス担当者

エンドユーザーの SharePoint 利用を促進することができました。



エンド ユーザー

必要なファイルへのアクセス先を SharePoint に一本化されたことで、シームレスなユーザー エクスペリエンスが実現できるようになりました。